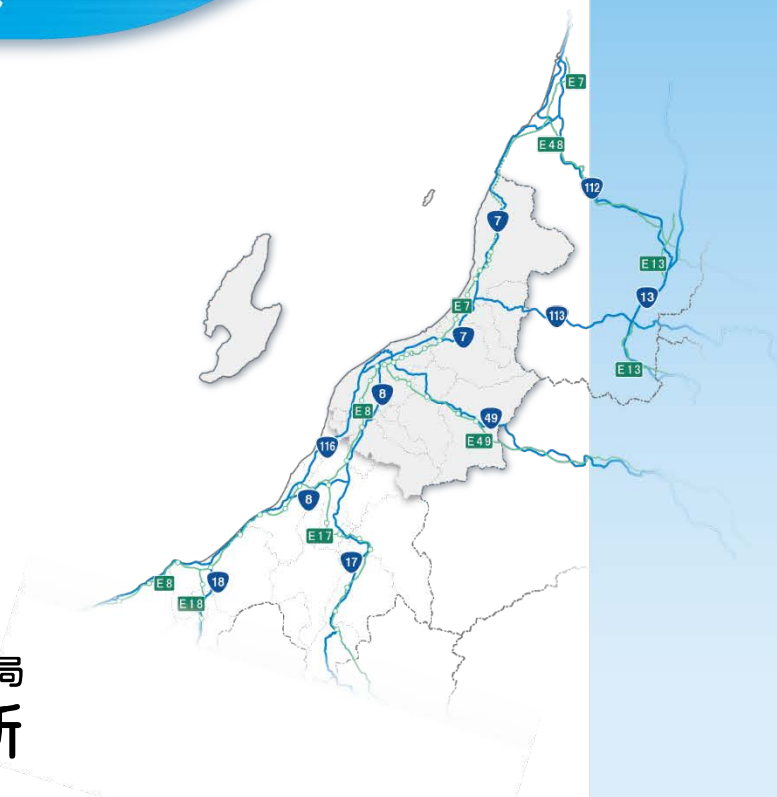




「昭和45年12月 新潟バイパス
紫竹山IC～海老ヶ瀬IC 部分供用開始」



2020 事業概要



国土交通省 北陸地方整備局
新潟国道事務所

こんにちは。新潟国道事務所です。

まちとまちをつなぐ



新潟バイパス

全国第2位の交通量を誇る市街地



2m以上の積雪がある山間部

国道113号



ひととひとをつなぐ

にぎわいイベントの開催



新潟まつりお祭り広場内「道路ふれあいコーナー」
(主催：道路ふれあいコーナー実行委員会)

活発な市民活動



ボランティア・サポートプログラム(VSP)



万代クロッシング



国指定重要文化財
萬代橋

過去から未来へつなぐ

事務所の概要

私たちは、新潟県人口の6割が集中する下越地方及び政令指定都市新潟市において道路事業を展開しており、国道7号、8号、49号、113号、116号の5路線を合わせ、約236kmの調査計画・改築修繕及び維持管理を実施しています。

■組織及び主な業務

組織	主な業務
総務課	事務所の窓口、行政相談窓口
経理課	契約や支払いに関すること
用地第一課	国道7号・8号・49号の用地取得、補償に関すること
用地第二課	国道116号・朝日温海道路の用地取得、補償に関すること
工務第一課	道路の改築工事に関すること
工務第二課	道路の建築工事に関すること
品質確保課	品質確保に関すること、工事発注の技術審査、工事検査、新技術に関すること
計画課	道路の計画、総合学習窓口に関すること
調査課	道路の調査、道の駅、広報に関すること
管理第一課	道路の情報、道路占用・請願工事、特殊車両の通行に関すること
管理第二課	交通安全施設の工事、道路の維持・修繕に関すること
防災情報課	防災、道路除雪、電気通信施設・建設機械・機械設備に関すること
維持出張所 (新潟・新発田・黒埼・水原)	国道の維持管理に関すること
村上出張所	朝日温海道路の工事監督

■路線別の管理延長

※R2.4.1現在

路線	管理区間	管理延長
7	新潟市中央区本町通7番町 ～ 村上市坂町	53.757 km
8	新潟市中央区紫竹山 ～ 三条市土場	38.777 km
49	東蒲原郡阿賀町八ツ田 ～ 新潟市中央区紫竹山	72.812 km
113	村上市坂町 ～ 岩船郡関川村大字金丸	25.865 km
116	長岡市寺泊敦ヶ曾根 ～ 新潟市中央区本町通7番町	44.679 km
	計	235.890 km



主な仕事・目次

暮らしを支える道をつくります 【改築事業】	<ul style="list-style-type: none"> ○国道7号 朝日温海道路、栗ノ木道路・紫竹山道路 P 3 ○国道7号 新潟駅交通ターミナル整備事業 新規 P 4 ○国道7号 新発田拡幅 ○国道49号 阿賀野バイパス (水原バイパス) ○国道116号 吉田バイパス 新規、新潟西道路 P 5
より安全で便利な道になおします 【交通安全事業】	<ul style="list-style-type: none"> ○国道7号 竹尾IC事故対策 新規 P 6 ○国道49号 姥ヶ山事故対策 ○国道116号 吉田下中野地区自転車歩行者道整備 ○近年の全国的な取り組み P 7 ○防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策 P 8
24時間365日道路を守ります	<ul style="list-style-type: none"> ○日常の管理 ○インフラメンテナンス (点検・修繕) P 9 ○除雪 ○関係機関との連携 P10
みなさんと一緒に地域を盛り上げます	<ul style="list-style-type: none"> ○萬代橋 ○ボランティア・サポート・プログラム (VSP) P11 ○道の駅 P12
道の魅力を伝えます	<ul style="list-style-type: none"> ○総合学習支援と現場見学 P13 ○各種イベントへの参加

暮らしを支える道をつくれます【改築事業】

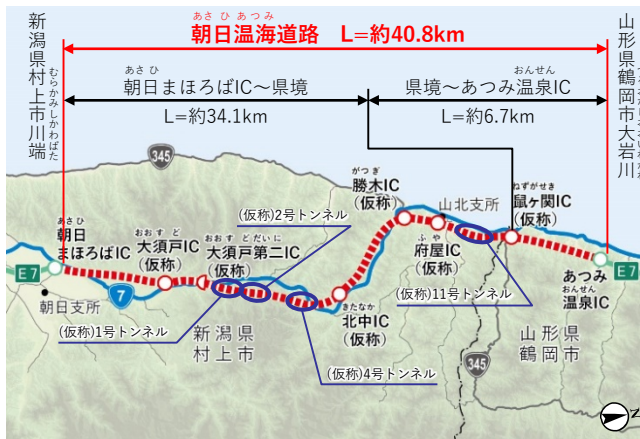
交通渋滞の緩和、交通事故の削減、騒音・振動の改善などと共に、災害に強い道路をつくれます。

7 あさひ あつみ 朝日温海道路

日本海沿岸東北自動車道の一部を構成する道路として、災害時における緊急輸送と速達性の確保、高速ネットワーク形成による第三次緊急医療施設へのアクセス改善、日本海側拠点間の交流・連携強化などの効果が期待されます。

本年度の取組

(仮称)1号・4号・11号トンネル工事、改良工事、橋梁工事等を推進するとともに、最も延長の長い(仮称)2号トンネル工事に着手します。



起点・終点	新潟県村上市川端～山形県鶴岡市大岩川
延長	40.8km
幅員	土工部：2.5-3.5-1.5-3.5-2.5 (13.5m) トンネル部：1.75-3.5-1.5-3.5-1.75 (12.0m) 橋梁部：1.75-3.5-1.5-3.5-1.75 (12.0m)
構造規格	第1種第3級 設計速度 80km/h
事業の経緯	平成25年度 事業化 平成27年度 用地着手 平成29年度 工事着手(1号トンネル工事)

つなぎます。かわります。
日道道 朝日温海道路

最新情報はコチラ！



7 くりのき しちくやま 栗ノ木道路・紫竹山道路

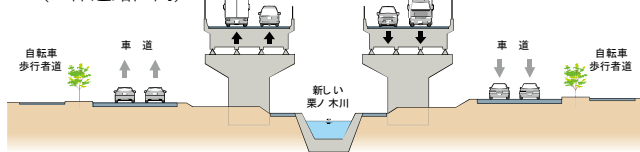
安全で円滑な交通が確保されるとともに、広域交通と都心地区の連携強化が図られ、政令市新潟の新しいまちづくりの支援に寄与することが期待されます。

本年度の取組

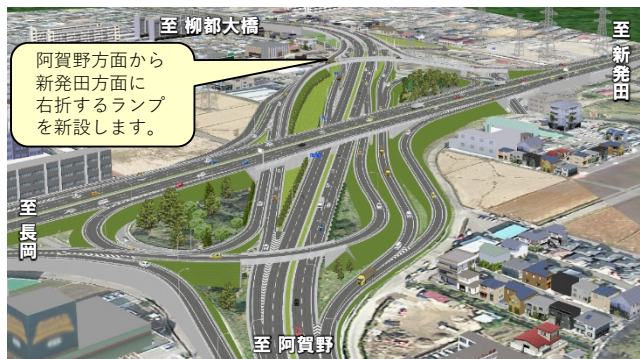
「地表道路への交通切り替え」を早期に実施できるよう、用地取得、改良、栗ノ木川付替工事を推進するとともに、立体道路(高架橋下部)に着手します。



栗ノ木道路・紫竹山道路の標準断面イメージ



紫竹山ICの完成イメージ



工事の進め方

右記のQRコードから栗ノ木道路の工事の進め方や完成イメージをご覧いただけます。



事業名	栗ノ木道路	紫竹山道路
起点・終点	新潟市中央区沼垂東2丁目～同区鏡	新潟市中央区鏡～同区紫竹山4丁目
延長	1.4km	0.7km
幅員	高架部(片側)：1.25-7.0-0.5 (8.75m) 地表部(片側)：5.0-3.0-2.0-6.5-0.5 (17.0m)	
構造規格	高架部：第3種第1級 設計速度 60km/h 地表部：第4種第1級 設計速度 50km/h	
事業の経緯	平成19年度 事業化 平成20年度 用地着手 平成24年度 工事着手	平成23年度 事業化 平成24年度 用地着手 平成25年度 工事着手

道路と駅、まちが一体となって広域的な交通結節機能の強化を目指します。

高速バス乗降場の分散解消、防災機能の向上、新潟駅周辺の交通円滑化、新潟駅周辺の賑わい空間創出が期待されます。

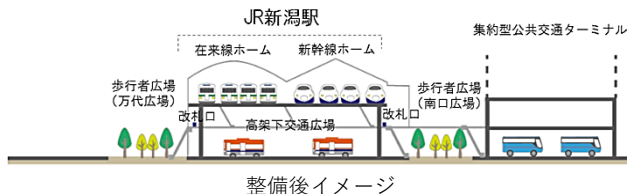


将来の姿（整備イメージ）

起点・終点	新潟市中央区東大通1丁目～同区花園1丁目	
延長	0.6km	
事業の経緯	令和2年度	事業化

本年度の取組

調査設計に着手します。



整備後イメージ



バスによる車線閉塞の状況



冬のバス待ち状況

道路法等の一部を改正する法律

◎民間と連携した新たな交通結節点づくりの推進

【道路法、道路特措法】

- 交通混雑の緩和や物流の円滑化のため、バス、タクシー、トラック等の事業者専用の停留施設を道路附属物として位置付け（特定車両停留施設）

- ◆施設の運営についてはコンセッション（公共施設等運営権）制度の活用を可能とする

- ・運営権者（民間事業者）は、利用料金を収受することが可能
- ・協議の成立をもって占用許可とみなす

特定車両停留施設(イメージ)



安全で円滑な交通の確保と沿道環境の改善が図られるとともに、「新潟県東部産業団地」や「総合運動公園」等へのアクセスが向上し、地域の発展に寄与することが期待されます。

本年度の取組

令和4年夏迄の開通に向け、改良工事や橋梁工事等を推進します。

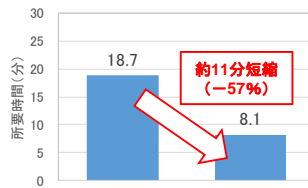


起点・終点	阿賀野市寺社～同市下黒瀬	
延長	8.1km	
幅員	高盛土部：2.0-7.0-3.0-7.0-2.0 (21.0m) 低盛土部：3.5-2.0-7.0-3.0-7.0-2.0-3.5 (28.0m)	
構造規格	第3種第1級 設計速度 80km/h	
事業の経緯	平成12年度	事業化
	平成15年度	用地着手
	平成17年度	工事着手

バイパスの整備効果

①走行時間の短縮

- バイパス整備により、円滑な走行環境が確保され、走行時間の短縮が期待されます。



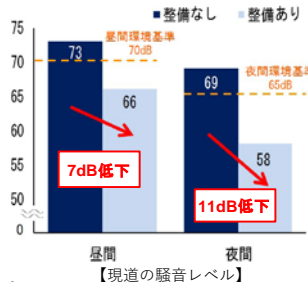
【現道(水原バイパス区間)の所要時間】

②交通事故の減少

- バイパス整備により、現道の通過交通がバイパスに転換し、交通事故の減少が期待されます。

③生活環境の改善

- バイパス整備に伴う通過交通の転換により、沿道地域の騒音低下が期待されます。



【現道の騒音レベル】

④防災機能の強化

- 高盛土構造で計画されるバイパスの整備により、阿賀野川氾濫時の緊急輸送道路としての機能向上が期待されます。

⑤救急救命活動の支援

- 第三次救急医療施設である新潟市民病院への緊急搬送時間が短縮し、救急救命活動への支援が期待されます。

⑥阿賀野市の観光・交流・産業支援

- 事業区間周辺に点在する観光施設や、新潟県東部産業団地へのアクセス性が向上し、観光・交流の活性化及び、阿賀野市における産業の発展が期待されます。



瓢湖水きん公園



新潟県東部産業団地

116 よしだ 吉田バイパス

新規

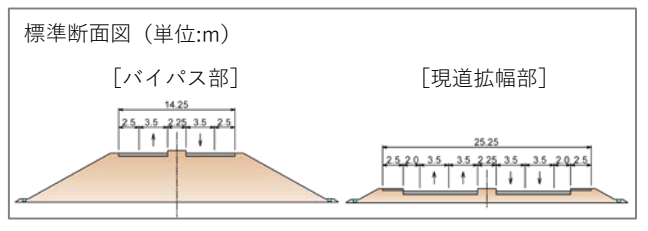
慢性的な交通渋滞が緩和され、安全で円滑な交通が確保されるとともに、物流効率化による地域産業の支援が期待されます。



本年度の取組 測量、地質調査、道路設計に着手します。



起点・終点	燕市熊森～新潟市西蒲区高橋
延長	11.5km
幅員	バイパス部：2.5-3.5-2.25-3.5-2.5 (14.25m) 現道拡幅部：2.5-2.0-3.5-3.5-2.25-3.5-3.5-2.0-2.5 (25.25m)
構造規格	第3種第1級 設計速度 80km/h
事業の経緯	令和2年度 事業化



7 しばた 新発田拡幅

慢性的な交通渋滞の緩和、安全で円滑な交通が確保されるとともに、地域の発展に寄与することが期待されます。

本年度の取組 新発田市小舟町～同市城北町間の用地取得を推進するとともに、改良工事に着手します。



起点・終点	新発田市奥山新保～同市三日市
延長	5.8km
幅員	第4種第1級：4.5-1.5-2.0-7.0-3.0-7.0-2.0-1.5-4.5 (33.0m) 第3種第1級：3.5-2.0-7.0-3.0-7.0-2.0-3.5 (28.0m)
構造規格	第4種第1級：設計速度 60km/h 第3種第1級：設計速度 80km/h
事業の経緯	平成3年度 事業化
	平成6年度 用地着手
	平成12年度 工事着手
	平成21年9月 舟入交差点～中曽根町交差点間の4車線開通
	平成28年3月 中曽根町交差点～小舟町交差点区間の4車線開通

116 にいがたにし 新潟西道路

慢性的な交通渋滞が緩和され、信頼性の高い道路ネットワークを構築するとともに、沿線地域の安全性向上及び物流効率化による地域産業の支援が期待されます。

本年度の取組 測量、地質調査、道路設計を推進します。



起点・終点	新潟市西区明田～同区曽和
延長	4.2km
幅員	土工部：2.0-7.0-3.0-7.0-2.0 (21.0m) 橋梁部(片側)：1.25-7.0-0.5 (8.75m)
構造規格	第3種第1級 設計速度 80km/h
事業の経緯	平成31年度 事業化

より安全で便利な道になおします【交通安全事業】

交通事故や渋滞が発生する原因を調べて、交差点やICを改良したり、自転車や歩行者にも使いやすい道路になおします。

■ 事故対策事業推進箇所

- 7 にいがたこうひがしこう
新潟港東港地区事故対策（聖籠町）
- 7 まくさかわざしどおり
舩川岸通地区事故対策（新潟市中央区） **新規**
- 7 たけお
竹尾IC事故対策（新潟市東区） **説明あり** **新規**

- 8 おどおりにし
大通西交差点改良（新潟市南区）
- 8 しもすごろ
下須頃地区事故対策（三条市） **新規**
- 49 うばがやま
姥ヶ山事故対策（新潟市中央区） **説明あり**

7 たけお 竹尾IC事故対策 **新規**

ランプ部の右折滞留長延伸や加速合流車線設置を行うことで、ランプ部で渋滞に起因した事故や、従道路と合流部での事故が削減されることが期待されます。

本年度の取組 調査・設計を行います。



路線名	国道7号 新潟バイパス（竹尾IC）	
起点・終点	新潟市東区竹尾	
構造規格	第3種第1級	
事業の経緯	令和2年度	事業化

49 うばがやま 姥ヶ山事故対策

近接する交差点位置の変更、滞留長の確保を行うことで、IC出口や本線との分合流部での事故や渋滞が削減されることが期待されます。

本年度の取組 本線(下り)の舗装工事とランプ(上り・下り)の改良工事を行います。



路線名	国道49号 亀田バイパス（姥ヶ山IC）	
起点・終点	新潟市中央区姥ヶ山	
構造規格	第3種第1級（ループランプ）	
事業の経緯	平成21年度	事業化、用地着手
	平成23年度	工事着手
	平成25年度	仮設ランプ開通

■ 歩道などの整備推進箇所

- 8 おどおりにし
大通西電線共同溝（新潟市南区）
- 116 みさきちよう
美咲町電線共同溝（新潟市中央区）

- 116 よしだしもなかの
吉田下中野地区自転車歩行者道整備（燕市） **説明あり**

116 よしだしもなかの 吉田下中野地区自転車歩行者道整備

燕市中心市街地において、自転車歩行者道の整備や電線の地中化を行うことで、安心・安全な歩行空間の確保、防災機能や景観の向上が期待されます。

路線名	国道116号	
起点・終点	燕市吉田下中野	
構造規格	第3種第2級	
事業の経緯	平成24年度	事業化
	平成25年度	用地着手
	平成26年度	工事着手

本年度の取組 門光寺交差点付近(下り線)の電線共同溝整備と、舗装工事など行います。



近年の全国的な取り組み

■ 未就学児が日常的に集団で移動する経路における安全対策

令和元年5月に滋賀県大津市にて発生した、歩道を通行中の園児らが死傷する交通事故を受け、未就学児が日常的に集団で移動する経路のうち、危険があると認められる箇所について、道路管理者、警察署、保育所・幼稚園等の対象施設の関係者と連携し、緊急合同安全点検を実施しました。点検結果に基づき必要な対策を実施していきます。



合同点検実施状況

対策前

対策後のイメージ

■ 高速道路ナンバリング標識

訪日外国人旅行者や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、様々な来訪者に分かりやすい道案内の実現を目指すため、高速道路に路線番号をつける「ナンバリング」の取り組みを進めてきました。

令和元年度末までに新潟国道事務所管内の直轄国道の必要な箇所において、全てナンバリング標識の設置を完了しました。



ナンバリング対応後の案内標識

■ 事故ゼロプランの取り組み（事故危険区間重点解消作戦）

安全安心な道路環境を実現するため、事故データや地域の声に基づき事故の危険性が高い区間を「事故危険区間」として選定にし、重点的・集中的に事故対策を進める『事故ゼロプラン』の取り組みを行っています。

新潟県内の直轄国道を対象に、全182区間(令和2年4月現在)の事故危険区間について順次対策の検討を進めています。

「事故危険区間」を **見て**、**チェックして**、他にも「危ない」場所を **教えて** 下さい。

見て

- 事故データ、地域の声に基づき、現在選定されている「事故危険区間」を見てください。

チェックして

- 「事故危険区間」を知ってください。また、事故危険区間を通るときは注意しましょう。

教えて

- 他に「危ない」と思う場所を教えてください。

https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/jikozero_enquete/



事故対策の一例



防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策

「重要インフラの緊急点検の結果及び対応方策」(平成30年11月27日重要インフラの緊急点検に関する関係閣僚会議報告)等を踏まえ、国民経済・生活を支える重要インフラ等の機能を維持するため、2018年度から2020年度までの3年間でハード・ソフト対策を集中的に実施します。

法面・盛土



土砂災害等の危険性が高い箇所について、土砂災害等に対応した道路の法面・盛土対策、土砂災害等を回避する改良や道路拡幅を行います。

冠水



冠水発生の恐れのある箇所について、道路及びアンダーパス部等の排水能力向上のため、排水施設の補修等を行います。

停電・節電



交通ネットワーク確保のため、道路情報板やCCTVカメラなどの無停電対策(発電機の設置)を行います。

無電柱化



災害(地震・暴風)時に電柱が倒壊し、通行に支障が生じる恐れのある道路について、無電柱化を行います。

豪雪



豪雪による大規模な車両滞留が生じる恐れのある箇所について、待避場・道路情報板の整備等を行います。

24時間365日、道路を守ります

道路をいつも良好な状態に保つよう日常の管理に加え、インフラメンテナンスの実施、災害時における関係機関との連携強化を図っています。

日常の管理

全国統一の基準に基づいた「道路の維持管理方針（案）」を定め、運用しています。
また、利用者の皆様の安全のため、照明施設や非常用施設の維持管理を行っています。

監視



道路上に設置されている情報収集機器（CCTVカメラ、気象観測装置等）を用いて道路情報を把握し、道路利用者に情報提供を行います。

巡視



主に道路パトロールカーの車内より、道路の異常や利用状況等を目視で確認します。

清掃



沿道的美観を維持し、路面の排水阻害及び路面滞水を防止するため、道路に溜まった土砂や小さなゴミ等を清掃します。

除草



繁茂した雑草との接触回避や視認性を確保するため、路肩や中央分離帯などを除草します。

植栽剪定



繁茂した樹木や寄植との接触回避や視認性の確保や沿道環境の向上のため、剪定します。

道路照明



夜間走行時に歩行者や障害物を発見しやすくして事故を未然に防ぐため、道路照明施設の電球交換等を行っています。

管内における「道路の維持管理計画（案）」は、以下に掲載しています。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/work/maintenance.html>



道路の異状を発見したら

道路緊急ダイヤル **#9910**

全国共通 24時間受付可能

道路の陥没や機器の故障、落下物、災害による異常などを発見したら、全国共通の道路緊急ダイヤル（無料）にお電話ください。

インフラメンテナンス(点検・修繕)

定期的に損傷状況を把握し、適切な対策を講じることにより、道路施設を長く大切に使います。

そのために、5年に1度、道路施設を点検し、その結果を踏まえた計画的な修繕を実施します。

橋梁



トンネル



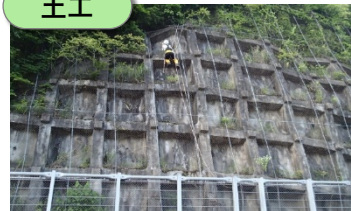
附属物



舗装



土工



除雪

雪が降り積もる冬でも、安全で円滑な冬期道路交通の確保を図り、大規模な通行止めが生じないようにするため、24時間体制で除雪を行います。

新雪除雪



路面に積もった新雪を路肩または路外に除雪します。降り始めからの降雪で交通に支障をきたす場合、さらに降り続くことが予想される場合に出勤します。

路面整正



路面に積もった雪が、通行車両に踏み固められると、圧雪になります。路面整正は、路面の圧雪を除去、または圧雪の凹凸を削り取ることで平滑に仕上げ、通行車両の安全を確保します。

拡幅除雪



新雪除雪や路面整正作業により路肩に寄せられた雪を路側に積み上げるか路外に投雪して、車両の通行幅の確保を行うとともに、次の除雪のための堆雪幅の確保を行います。

市街地除雪



市街地では道路にたまった雪で道幅が狭くなり、バスなど公共交通機関の遅れや交通渋滞の原因となるため、雪を雪捨て場へ運び出す排雪を行います。

歩道除雪



通学や通勤で歩道を利用する歩行者の通行を確保するため、歩道除雪を行います。

凍結防止



路面に積雪や水分があり、路面温度が0℃以下に降下し、路面の凍結が予想される場合や凍結が生じた場合に、凍結防止剤（塩化ナトリウムなど）を散布して凍結を防ぎます。

関係機関との連携



冬期間における登坂不能車を未然に防止するため、警察と連携したタイヤチェーン装着指導訓練



除雪作業受注者と連携し、登坂不能車両が発生した場合の除雪車両による大型車牽引訓練



災害対策基本法指定区間での緊急車両通行確保を目的とした車両移動訓練を維持作業・維持工事受注者と実施



関係機関と連携した豪雪時に交通障害が発生した場合のタイムライン訓練

みなさんと一緒に地域を盛り上げます

地域と連携しながら、交流によるにぎわいづくりの場となる道路空間を提供したり、道路愛護につながる取り組みを支援していきます。

7 ばん たい ばし 萬代橋

萬代橋は新潟市中央区の都心部に位置し、信濃川河口より約3.5km上流に位置する国道7号の道路橋です。

現在の三代目萬代橋は8月23日に91歳になります。

来たる100周年に向けて心のふるさと萬代橋を舞台にした取り組みに協力していきます。



萬代橋チューリップフェスティバル
(4月中旬～4月下旬)



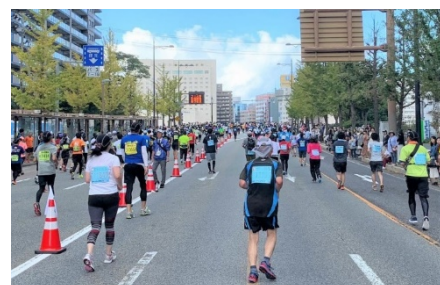
萬代橋みがき (R1.7.22)
※市民団体を含む総勢80名が参加



新潟まつり・大民謡流し
(8月下旬)



萬代橋誕生祭
(8月下旬)



新潟シティマラソン
(10月中旬)

国指定 重要文化財「萬代橋」とは？



三代目萬代橋(昭和4年8月～現在)
橋長/306.9m(新潟地震前約309m)、幅員/22.0m

明治19年に架けられた萬代橋は、時代と共に新潟市の発展に貢献してきました。現在の橋は三代目で、平成16年7月6日に国道に架かる橋としては、国道1号日本橋に次いで2例目となる国の重要文化財に指定された、「用・強・美」を兼ね備えた日本の名橋です。

【萬代橋の特徴】

- 用：1日約3万台の自動車交通量を支える大動脈
- 強：関東大震災の復興技術が活かされ、新潟地震にも耐えた強さ
- 美：安定感と軽快感を両立する6連アーチと、御影石の化粧張りの美しさ

【重要文化財指定の理由】

- ①橋のデザイン史上での価値が高い
- ②技術的達成度を示す遺構として貴重

ボランティア・サポート・プログラム(VSP)

住んでいるところをきれいにしたい！という地域や企業の方々の気持ちに応える道路の美化・清掃プログラムです。実施団体（ボランティア）・道路管理者・協力者の3者間で協定を結び、道路の美化活動を行っています。



国道	実施団体数
7号	24
8号	37
49号	4
113号	4
116号	13
計	80

(R2.4.1現在) ※2団体が路線重複

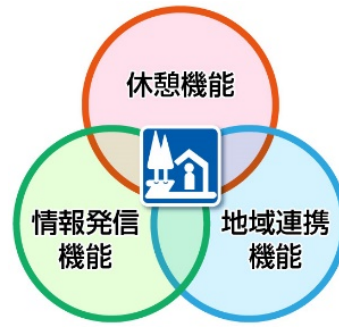


道路の美化活動の様子

道の駅

新潟県内では41箇所の「道の駅」（R2年度オープン予定2駅含む）が登録されており、誰もが休憩したり、様々な情報を得られる個性豊かなにぎわいの場となっています。

また、道の駅は制度創設から四半世紀が経過し、2020年から『地方創生・観光を加速する拠点』として新たなチャレンジに取り組んでいきます。



+

**災害時は
防災機能を
発現**

「道の駅」新たなステージ（第3ステージ）に向けた検討はこちら
https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/shin-michi-no-eki/pdf00/suggestion_3rd_stage.pdf

世界ブランドのMichi-no-Ekiへ

- ・外国人観光案内所の登録
- ・免税店の登録
- ・キャッシュレス決済の導入
- ・施設の多言語案内
- ・公衆無線LANの整備など



キャッシュレス決済



多言語化による案内



公衆無線LAN

あらゆる世代が活躍するための環境整備

- ・24時間利用可能なベビーコーナーの整備
- ・おむつのバラ売り販売
- ・屋根付き駐車スペースの整備
- ・地域の課題解決に向けた大学等をはじめとした団体との協働など

授乳用設備



ベビーコーナー



地元大学との連携



屋根付き駐車スペース

防災拠点として整備・活用

- ・非常用電源装置の整備
- ・防災備蓄倉庫の整備
- ・飲料水貯水槽の整備
- ・防災トイレの整備
- ・避難場所
- ・災害情報の発信
- ・支援活動や支援物資集配の拠点など



防災備蓄庫



防災トイレ



避難場所

北陸「道の駅」の情報はホームページをご覧ください。
<https://www.hokuriku-michinoeki.jp/>

道の魅力を伝えます

次世代にも道路に関心を持っていただくための活動を続けていきます。

総合学習支援と現場見学(インフラツーリズム)

「総合的な学習の時間」や地域団体が行う勉強会への支援の一環として、現場見学や講師派遣、事務所内の見学を受け付けています。

既存のインフラや工事中のインフラを対象にしたツアーが全国各地で実施されています。インフラそのものが地域固有の観光資源としても注目され始めています。

まずは、お気軽にお問い合わせください。

(TEL 025-244-2159)

<https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/pickup/gakusyu.html>



朝日温海道路工事現場の見学※



日治道現場見学会 (R1.9.18)
朝日さくら小学校 4年生14名

あなただけのオリジナル
ロックボルトキャップを
設置してみませんか？



※工事着手から延べ
約1,000名が参加

出前講座(萬代橋の移り変わりと役割)



新潟市立万代長嶺小学校 4年生59名 (R1.7.12)

総合学習「職場体験」



橋梁打音検査体験

新潟市立宮浦中学校 2年生3名 (R1.9.25・26)

除雪体験学習



新潟市立木山小学校4年生8名 (R1.11.6)

各種イベントへの参加

毎年8月の「道路ふれあい月間」などに合わせて、管内で開催されるイベントに参加し、道路の愛護活動や正しい利用についての啓発等を行っています。



第17回萬代橋誕生祭 (新潟市中央区・R1.8.24)
萬代橋歴史パネル展、アーチ強度実験、降雨体験装置



新潟まつり内おまつり広場 (新潟市中央区・R1.8.10・11)
道路ふれあいコーナー



NSTまつり (新潟市中央区・R1.9.28・29)
萬代橋や道路事業のパネル展



国土交通省 北陸地方整備局
新潟国道事務所



〒950-0912 新潟市中央区南笹口2丁目1番65号
TEL 025-244-2159(代) FAX 025-246-7832

<https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/>



おかげさまで60周年



■ 新潟維持出張所	〒950-0914	新潟市東区紫竹山 3-12-2	TEL 025-244-3483	FAX 025-245-5764
■ 新発田維持出張所	〒957-0011	新発田市島潟665	TEL 0254-26-0337	FAX 0254-26-1873
■ 黒埼維持出張所	〒950-1102	新潟市西区善久1072	TEL 025-377-2370	FAX 025-377-5981
■ 水原維持出張所	〒959-2003	阿賀野市安野町10-5	TEL 0250-62-3100	FAX 0250-62-1443
■ 村上出張所	〒958-0268	村上市小川1313-1	TEL 0254-52-7121	FAX 0254-52-7122

道路の異状を発見したら

道路緊急ダイヤル #9910

全国共通 24時間受付無料